

# インフルエンザ予防接種を受ける前に

★インフルエンザは感染力が強く、症状は普通のかぜに比べて高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等の全身症状が強く、気管支炎や肺炎等を合併し、重症化することもある病気です。

★**予防の基本は、流行前に予防接種を受けることです。**予防接種により、インフルエンザの発病予防や症状を軽くし、合併症等を予防することが期待されます。

★流行時期には、マスクの着用や手洗いを心がけ、室内は適度な湿度（50～60%）を保ち、栄養と睡眠を十分にとりましょう。また、人混みや繁華街への外出は控えましょう。

## 1. 一般的注意事項

- ・予防接種を受ける前に、必要性や副反応についてよく理解しましょう。
- ・接種を受けてからインフルエンザに対する免疫がつくまで2週間程度かかり、効果が十分に持続する期間は約5カ月間とされています。
- ・気になることや分からないことがあれば、担当の医師や看護師等におたずねください。
- ・説明を受けても十分に理解できない場合は、接種を受けないでください。

## 2. 予防接種を受けることができない人

- ・明らかに発熱している人
- ・重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ・ワクチンに含まれる成分でアナフィラキシーを起こしたことがある人
- ・予防接種で接種後2日以内に発熱及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を起こしたことがある人
- ・その他、予防接種をすることが不適当な状態と医師が判断した人

## 3. 予防接種を受ける前に、医師とよく相談しなくてはならない人

- ・心臓病、腎臓病、肝臓病、血液疾患等の基礎疾患がある人
- ・過去にけいれんを起こしたことがある人
- ・免疫不全の人、近親者に先天的免疫不全症の人がいる人
- ・間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患のある人
- ・薬の投与または食事（鶏卵、鶏肉等）で皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたことがある人

## 4. 予防接種を受けた後の注意事項

- ・予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。医師（医療機関）とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- ・予防接種の注射のあとが、赤みを帯びたり、腫れたり、痛んだり、軽い発熱が出たり、寒気がしたり、頭痛等がみられることがあります。（副反応）  
もし、接種した部位の異常な反応や体調の変化、さらに、高熱、けいれん等異常が生じた場合には、速やかに医師（医療機関）の診察を受けてください。
- ・予防接種を受けた日は、入浴しても差し支えなく、接種部位を清潔に保ってください。いつもどおりの生活をして大丈夫ですが、激しい運動は避けてください。

## 5. この予防接種により健康被害が生じた場合

- ・予防接種法に基づく定期の予防接種によるものと厚生労働大臣が認定したときは、予防接種法に基づく健康被害救済の給付の対象となります。

<お問い合わせ先>

仙台市総合コールセンター「杜の都おしえてコール」

 022-398-4894

[受付時間] 8:00～20:00(年中無休)

(土曜・日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)は17:00まで)

※個人情報に関わるお問い合わせや専門的な内容は担当部署にお取り次ぎいたします

英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語にも対応

●よくある質問と回答(FAQ)はこちらをご覧ください

<https://faq.callcenter.city.sendai.jp/>